

## ■変数と型キャストの関連関数まとめ

作成: 2011.6.27/2015.8.2修正 yoshi

データ型	論理値	整数	浮動小数点	文字列	配列	オブジェクト	リソース	ヌル値	スカラー
	boolean	integer	float	string	array	object	resource	null	scalar
データ型の内容	真か偽かを示す	正の整数、ゼロ、負の整数	小数や実数	シングルクォート「'」やダブルクォート「"」で囲まれた文字列	インデックスNoやキーワードにより分割(パーティション)区切りのある変数	あるデータや、メソッド・プロパティを一体化したもの(をオブジェクト)	関数によって作成される特別な型(ファイルハンドル、データベースへのリンク)	変数が値を持たないことを示す	論理値、整数、浮動小数点、文字列
is_* 関数 (変数の型を調べる)	is_bool (変数)	is_int (変数) is_integer (変数) is_long (変数)	is_float (変数) is_double (変数) is_real (変数)	is_string (変数)	is_array (変数)	is_object (変数)	is_resource (変数)	is_null (変数)	is_scalar (変数)
型キャストを利用して変換	(bool) (boolean)	(int) (integer)	(float) (double) (real)	(string)	(array)	(object)	(注)なし	(unset)	
gettype 関数 文字列= gettype(変数); 変数の型を文字列で得る	boolean	integer	ddouble	string	array	object	resource	null	
settype 関数 論理値= settype(変数,型); 変数自体の型を変換	型: bool boolean	型: int integer	型: float double	型: string	型: array	型: object		型: null	
サンプルプログラム				<pre>\$a = "a"; \$b = "\$a"; echo gettype(\$b); // string と表示</pre>	<pre>\$s = "a"; \$a = (array) \$s; echo \$a[0]; // a と表示</pre>	<pre>\$a = "a"; \$obj = (object) \$a; echo \$obj-&gt;scalar; // a と表示</pre>	<pre>\$a = fopen('text.txt','r'); echo gettype(\$a); // resource と表示</pre>		

### 【補足説明】

- NAN  
数値演算の結果が、定数 NAN で表される値になることがあります。この定数は、浮動小数点演算における未定義の値あるいは表現不能な値を表します。  
is\_nan()関数で、値が数値でないかどうかを判定可能。
- 型変換のキャスト  
(binary) によるキャストや b プレフィックスのサポートは、PHP 5.2.1 で追加
- is\_numeric(変数)  
HTMLフォームは整数、浮動小数点数、booleanを渡してはくれず、文字列を渡します。文字が数値であるかどうか確認するには、is\_numeric()を使う
- get\_resource\_type()  
指定したリソースハンドルを評価して、リソースの型を取得する関数(リソース型を表す文字列を返す)  
(例): stream を出力  

```
$fp = fopen("foo", "w");
echo get_resource_type($fp) . "\n";
```